様式３(2020.08改)

作成日　令和　3年　12月　14日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000357
事業所名	グループホーム　ほほえみの里若林

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	地域の夏祭りや盆踊りに参加したり、八幡宮の神輿の立ち寄りや中学生、高校生、大学生の福祉ボランティア、折り紙や物作りなどのボランティアを受け入れている。また、月1回の認知症カフェへの参加も定着してきたが、コロナ禍により難しい状況となっている。交流は難しいが、ドライブがてら公園に出かけたり季節の花見を楽しんだり、近隣の散歩を通して季節の移り変わりを感じながら地域との繋がりを継続している。近くの保育園児とは、手作りの作品を介して交流をしたり、コロナ感染症の状況を確認しながら今後に向けて交流の輪を広げていくよう検討をしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	地区長、民生委員、地域包括支援センター職員の参加を得て年6回開催している。コロナ禍による緊急事態発生時は、事業所内容を文書報告へ切り替え理解を得ている。緊急事態宣言解除後は、感染予防対策を徹底し対面での会議を実施している。議事録は、ファイルして自由に閲覧できるようにしている。家族には面会時に口頭で容を伝えたり、家族会などで報告しているがコロナ禍においては家族会は中止をしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	行政担当窓口とは、介護保険更新手続きや申請の代行業務、サービスの取り組みなどを伝え、情報交換をしながら良好な協力関係を築いている。市主催の研修会や勉強会は、ズーム研修で参加をしていたが、再開された研修もあり職員が参加をしている。また、毎月開催している認知症カフェは自粛しているが、コロナ感染症の状況を確認しながら、来春4月を目途に再開の方向で検討をしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	入居者の意見、要望は日常の会話や表情から読み取り、申し送りノートに記載して会議で検討し職員間で共有して運営に反映している。家族からは面会時やケアプランの説明などで、生活や事業所に対する要望を聞き、ケアや接遇などの改善に役立てている。家族会は、コロナ感染症の状況を確認しながら12月より実施予定としている。また、年1回アンケートを実施し、結果は、職員で共有し施設のサービスの向上に役立ている。ほほえみの里新聞を発行や入居者の日常の写真を送付して家族に安心を届けている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

運営推進会議については、新型コロナウイルスの影響で書面での開催としているが緊急事態宣言解除後は、状況を確認しながら対面での会議を実施している。面会は予約制で相談室にて、マスク着用でアクリル板を利用し距離を保ちながら１５分程の時間で行っている。また、電話など家族が対応しやすい方法で実施している。外出自粛が続く中、少しでも外気に触れる機会を保つために、日々の散歩やドライブを通して季節の移り変わりを感じながら地域との繋がりを継続している。毎月開催している認知症カフェへの参加のは、コロナ感染症の状況を確認しながら４月開催に楽しみを繋げている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									